

テーマ：風力発電と野鳥

ポスター制作の素材と条件

キャッチコピーやその他の文字素材については、自分なりに考えてもいいですが、思いつかない場合には、下記の案を使用したり、参考にしてアレンジしたりしてみましょう。

【キャッチコピーの例】

- 自然（環境）にやさしい“自然エネルギー”を
- 人と生きものが共存できるエネルギー
- 未来へと命をつなぐ 電力の時代へ
- 野鳥の生息地を脅かす風力発電開発

写真素材

※すべて加工 OK (クレジット不要)

写真の説明

風力発電と同様、野鳥もまた、風の力を利用して飛翔しているため、開発場所がり渡りのルートなどと重なってしまい、鳥との軋轢（あつれき）が起こってしまう。



【日本野鳥の会】風車_風車 RIMG0550



【日本野鳥の会】風車_風車 RIMG0567



【日本野鳥の会】風車_風車 RIMG0558

写真の説明

風車の羽に当たって、体が切断された絶滅危惧種のオジロワシ



【日本野鳥の会】風車_オジロワシ死体02



【日本野鳥の会】風車_オジロワシ死体01



【日本野鳥の会】風車_オジロワシ切断

写真の説明

洋上に建てられた風力発電施設（洋上風力）



【日本野鳥の会】風車_風車 IMG3612



【日本野鳥の会】風車_風車 IMG3184



【日本野鳥の会】風車_風車 DSC01422



【日本野鳥の会】風車_風車 2018-09-22 11.03.32



【日本野鳥の会】風車_風車 2018-09-20 16.12.47

写真の説明

陸上に建てられた風力発電施設



【日本野鳥の会】風車_風車 IMG_0070



【日本野鳥の会】風車_風車 P9280006



【日本野鳥の会】風車_風車 RIMG1178



【日本野鳥の会】風車_風車 004



【日本野鳥の会】風車_風車 041

写真の説明

オジロワシ



【日本野鳥の会】風車_オジロワシ

写真の説明

オオワシ



【日本野鳥の会】風車_オオワシ

写真の説明

オジロワシとオオワシ、合計8羽がとまっている木



【日本野鳥の会】風車_フレシマ_ワシ8羽

必須項目

1. 「公益財団法人日本野鳥の会」という文字
2. 日本野鳥の会のロゴ
3. 「野鳥も人も地球のなかま」という文字
4. 当会の URL : <https://www.wbsj.org/>
あるいは、
活動ページの URL : <https://www.wbsj.org/nature/kisyoku/kb/index.html>

詳細資料

風力発電促進と、自然破壊の一面：

◎再生可能エネルギー・自然エネルギーとは？

再生可能エネルギーとは、化石燃料（石油、石炭など）と違い、自然現象などによって再生されるエネルギーで、長期間枯渇が心配されないエネルギー源のことです。

主な例としては風力、太陽光、水力、波力などがあります。その一種として分類され、最近注目されているバイオマス由来廃棄物を利用した、「新エネルギー」と呼ばれています。

似たような言葉に「自然エネルギー」がありますが、再生可能エネルギーとはほぼ同義語であり、自然の力を利用したエネルギー源のことで、風力発電、太陽光発電、地熱発電などがあります。

◎日本野鳥の会の風力発電を代表とする再生可能エネルギーへの方針

風力発電は、地球温暖化対策のための有力な自然エネルギー源として世界各国で導入が進められており、日本でも政府による導入推進策がとられています。しかし、立地条件によっては絶滅危惧種の野鳥の衝突事故といった環境影響が生じることが報告されており、生物多様性の保全と調和のとれた風力発電の導入を図ることが世界的な課題となっています。

できるだけ早急に地球温暖化対策を施さなければ、将来的に多くの生物の生命を危険に晒し、広範に生物多様性が失われてしまうと考えています。そのため、代替エネルギーとして実用的な技術レベルに達している風力発電を、積極的に導入していくことに賛成しています。

ただし、風力発電の導入にあたり、野鳥など野生生物の生息に悪影響を及ぼすといった、現在の生物多様性に大きな影響を与えてしまうとすれば、本末転倒です。

◎自然と共存する形で、促進していこう

豊かな森林環境を切り開いて、発電施設を設置するような事例が後を絶ちません。そこで当会は、2001年以來、自然環境や鳥類への環境影響を評価し、悪影響を回避、最小化するための制度と方法論を確立するための政策提案活動を行ってきました。また科学的視点から野鳥に悪影響があると考えられる風力発電の導入については、設置反対の姿勢をとっています。

風力発電事業に対する環境影響評価は、これまで環境影響評価法による環境アセスメントの対象外でしたが、当会などの働きかけが実り、法令の改正が実現しました。これにより、2012年から、法による環境アセスメントが実施されています。

日本野鳥の会は、今後、日本における風力発電の自然環境や鳥類への環境影響の評価の方法論を提案していきます。

当会の活動：

- ① 計画地、建設地の視察
- ② 風力発電が野鳥に与える影響をデータにまとめる
- ③ 要望書・意見書の提出
- ④ シンポジウム等の開催
- ⑤ アセス法など、法律設定、整備のための活動